

# こうせい

恒生病院広報誌

あなたにとって、  
もっと身近な医療づくり

vol. **35**  
2018.12

医療法人社団六心会 恒生病院

<http://www.kosei-hp.jp>  
〒651-1505 神戸市北区道場町日下部1788番地  
Tel.078-950-2622 Fax.078-950-2623

## 脳卒中について



〈脳卒中の原因〉

脳卒中

脳梗塞

脳出血

くも膜下出血



日本の死亡原因

1位／悪性新生物(がん)

2位／心疾患

3位／脳卒中

### 認定看護師紹介

急性期看護部

小林 泰宏

この度、恒生病院では初めてとなる認定看護師の資格を取得させていただき、今年の7月より勤務しております、小林 泰宏 です。

脳卒中は、原因別に脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の3つに大別されます。脳卒中は年間約29万人が発症しているといわれており、我が国の死亡原因では悪性新生物(がん)、心疾患に次いで第3位です。しかし要介護5となった原因では第1位であり、脳卒中は介護負担や日常生活に大きな支障を及ぼします。

## 認定看護師として…

脳には多くの機能が備わっており、また、様々な機能の中枢でもあります。どの部位で脳卒中を発症するかによって、障害の重症度や現れる症状が異なります。そのような背景があり、脳卒中に対する看護も重要性がクローズアップされ、11年前より認定看護師教育課程が開始となりました。

今回、私が取得した日本看護協会による脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は脳卒中発症直後より、**重篤化回避、活動性維持・促進の為に早期リハビリテーション、生活再構築のための機能回復支援**を行います。また、他職種と共同しチーム医療を推進します。後遺症を最小限に留める看護を行い、後遺症を抱える患者様とご家族にとって、最善の生活を一緒に考えさせて頂き、支援していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。



## 中村 貢（脳血管内治療部門 指導医・専門医）



以前の恒生病院に赴任したのが29年前であり、現在の近代化された施設とスタッフさんに感動していますが、顔の知っているスタッフさんも数人いらっしゃって安心感を覚えています。

日本脳神経血管内治療学会の指導医・専門医の第1回の認定は2001年でしたが、第1回で認定を受けており、そのあとはカテーテル治療のみを行ってきました。カテーテル検査（脳血管撮影）もカテーテル治療（脳血管内治療）もカテーテルという医療機器を使います。今回は、恒生病院に帰ってきた第1回目であり、カテーテル検査と治療について簡単に説明します。

## —— カテーテル検査・治療について ——

カテーテル検査・治療はいずれも、脳血管撮影室で脳血管撮影装置を使います。最新型のシーメンス社製 biplane装置が導入されており、検査・治療の質の向上や迅速化に大きく貢献しています。

カテーテル検査・治療では、動脈を穿刺してガイドワイヤーとカテーテルを一体に動脈のなかを進めていきます。脳血管撮影はできる限り肘の動脈から穿刺しますが、脳血管内治療では大腿部のより太い動脈を穿刺します（図-1）。脳血管撮影は脳血管に少しだけカテーテルを入れて液体の造影剤を注入して動画撮影します。ところが脳血管内治療では病気となっている脳の深部へとカテーテルを進める必要があります。脳血管撮影は造影剤を注入できればよいためカテーテルはさほど太くはありません（多くは4フレンチ、約1.3mm）。脳血管内治療では留置したカテーテルの中に、拡張術ではバルーンやステント、閉塞術ではコイルやステントなどを進めるためカテーテルが検査よりも太くなり（6-8フレンチ、約2.0-2.7mm）、脳の深部へと進入するため脳血管撮影とは比較にならない危険性があります。

脳血管内治療は最近、マスコミなどに取り上げられますが、皆さんが受ける印象とは異なり、安全で簡単な方法ではありません。技術的にも専門性の高い特殊な技術が必要な治療方法であり、メスを使用する開頭手術と同様に、また同等に危険性があることをご理解ください。



図-1（シーメンス社製 Artis zee biplane）

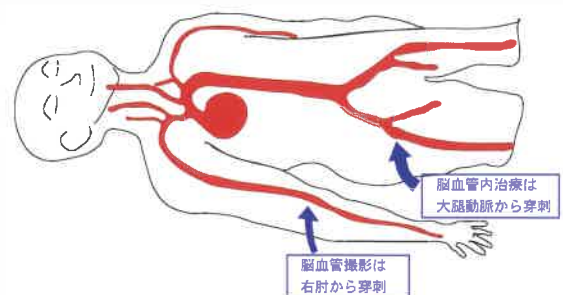


図-2 脳血管撮影は右肘から、脳血管内治療は大腿から穿刺します。脳血管撮影は4フレンチ（約1.3mm）、脳血管内治療では6-8フレンチ（約2.0-2.7mm）のカテーテルを使います



奥田医師おすすめの1冊「空海の風景」

著：司馬遼太郎（文庫本上下巻） 出版社：中央公論新社



空海の風景（上）



空海の風景（下）

私事で恐縮ですが、私の出身校は東大寺学園と言って、在学当時は東大寺の境内にありました。この東大寺、意外に知られていないのですが宗派は「華嚴宗」という大乘仏教系で、しかも密教色を少し混じています。それは何故か？実は空海が一時別当として在籍していたからだそうです。という事で、今回は故司馬遼太郎の昭和五十年年度芸術院恩賜賞受賞作「空海の風景」を紹介したいと思います。

司馬先生らしく、何気ない筆致で空海の故郷の情景を描写されるところからこの小説は始まります。

「僧空海がうまれた讃岐のくにというのは、（中略）野がひろく、山がとびきりひくい。野のあちこちに物でも撒いたように円錐形の丘が散在しており」

後年、善通寺の香川小児病院（現四国こどもとおとなの医療センター）に赴任する際に讃岐平野を見て、この文章を懐かしく思い出したことを今でも鮮明に覚えています。

そして前半（上巻）では空海の出自や家族縁戚の説明、奈良京都での修業時代、官吏としての栄達の道を捨て仏教を志して出奔した空白の七年間、そして遣唐使に加わり艱難辛苦の末に長安に至り、青龍寺の恵果和尚に金剛胎藏両密を完璧に伝授され、わずか二年間で帰国するまでが描かれます。

後半（下巻）は帰国後の密教の理論体系の確立と密教布教戦略、最澄の顕教との対峙が延々と語られます。最後は空海が入滅（死去）だったが、入定（即身成仏）だったが検証され、この長い「稿」は終わります。

読み物としては陽性で明るい上巻のほうが、暗くてやや陰湿な下巻よりも圧倒的に面白いのですが、面白さを求めて読む小説ではありませんし、稀代の天才空海の全貌を推理を交えつつ明らかにしていく構成はやはり見事です。

司馬先生曰く「遠い昔の風景の中の人」ではあるのですが、空海は今でも日本の数多の宗教人の中でダントツの人気を誇っています。常人では理解しがたいほどの真言密教体系の難解さから考えると、本当に不思議です。

そのあたりを、最近「空海」という著作を發表された、高村薫女史はこう解説しておられます。「空海の入定後、百年を経ずして東寺が空海その人の肖像を祀り始めたとき、あるいは（中略）入定留身説が作られたとき、僧空海の残像は消滅したと言えるだろう。そして、入れ替わりに弘法大師という靈驗あらたかな超人の伝説が現れ、民衆の間に広がってゆくのだが、その過程は空海の築いた真言密教の体系が一握りの学侶の専有となり、現世利益と儀礼の陰に隠れてゆく過程と軌を一にする。」

医療法人社団六心会 鹿の子台事業について

地域包括ケア病床を有する病院として新規開設する「恒生かのご病院」とともに、現在当法人にある訪問看護、訪問介護、訪問リハビリテーション及び居宅介護支援事業所を移設・集結し、新たに通所リハビリテーションをオープンさせます。さらにサービス付高齢者向け住宅（46室）を併設し、自宅での生活が困難な方々に住居を提供します。

また、建物内には地域交流ホールを設置し、地域の方々にもご利用いただく予定としております。



2019年5月開院予定



患者様が住み慣れた地域や自宅での生活を続けるためには、地域全体で治す・支える「地域完結型」の医療・介護が求められます。

その実現のために、医療だけでなく、介護との連携、住まいと生活支援が切れ目なくつながるネットワークが必要となります。

恒生かのご病院は、医療・介護・福祉サービスを総合的に提供し、地域を支えています。

